

琉球大学医学部新任教授記念講演会



常任理事 玉城 研太郎



琉球大学医学部新任教授記念講演会

日 時：令和8年3月11日（水）19：00～
場 所：沖縄県医師会館（3階ホール）

司会：玉城 研太郎 常任理事

開 会

あいさつ 沖縄県医師会会長 田名 毅

講 演

座長 琉球大学病院長・沖縄県医師会理事
鈴木 幹男 先生

①「沖縄ワンチームの挑戦と展望
— AI が切り開く循環器診療の未来 —」
大学院医学研究科 循環器・腎臓・神経内科学講座
教授 楠瀬 賢也 先生

②「沖縄における泌尿器科医療の発展と人材育成へ
向けて」
大学院医学研究科 腎泌尿器外科学講座
教授 猪口 淳一 先生

③「沖縄県の精神科地域診療における医療 DX の今
後の展望」
大学院医学研究科 精神病態医学講座
教授 高江洲 義和 先生

閉 会

去る3月11日（水）、本会館にて琉球大学医学部新任教授記念講演会を開催したので報告する。

本会と琉球大学の関わりは長く、昭和59年より琉球大学医学部の先生方に理事としてご就任頂き、琉球大学と沖縄県医師会のパイプ役として重要な役割を担って頂いている。

本会としても本県の医療界全体の発展のために琉球大学医学部と本会の更なる緊密な連携は不可欠であると認識しており、新たに教授としてご就任された先生方と本会会員との親睦を図るため、講演会並びに懇親会を開催した。

今回は、楠瀬賢也教授（循環器・腎臓・神経内科学講座）、猪口淳一教授（腎泌尿器外科学講座）、高江洲義和教授（精神病態医学講座）のお三方をお招きし、会員との親睦を深めた。

記念講演会では、楠瀬教授より「沖縄ワンチームの挑戦と展望 — AI が切り拓く循環器診療の未来 —」、猪口教授より「沖縄における泌尿

琉球大学医学部新任教授との懇親会

日 時：令和 8 年 3 月 11 日（水）20：20～
場 所：沖縄県医師会館（1階ロビー）

司会：玉城 研太郎 常任理事

開 会

あいさつ 沖縄県医師会会長 田名 毅

乾 杯 琉球大学病院長
沖縄県医師会理事 鈴木 幹男 先生

懇 親

閉 会

器科医療の発展と人材育成へ向けて」、高江洲教授より「沖縄県の精神科地域医療における医療 DX の今後の展望」と題し、講座の特徴や研究内容についてご説明頂いた。

その後、会場を移して先生方を囲んでの懇親会が開催され、祝宴が和やかに行われた。

講演

①「沖縄ワンチームの挑戦と展望 — AI が切り拓く循環器診療の未来 —」



琉球大学大学院医学研究科
循環器・腎臓・神経内科学講座 楠瀬賢也 先生

1. 背景

わが国では心不全患者が急増し、心不全パンデミックの時代を迎えている。一方で医師の働き方改革や地域偏在の問題により、専門医へのアクセスは制限されつつある。特に離島・僻地を抱える沖縄県では、限られた医療資源で質の高い循環器診療を維持する体制整備が急務である。

2. AI の可能性

ディープラーニングの進歩により、医療画像解析は飛躍的に進化した。AI は専門医の代替

ではなく、専門医の知見を拡張する“新たな眼”として非専門医を支援する役割を担う。

3. 心エコー AI の研究成果

当科では左室駆出率の自動計測、壁運動異常の自動検出などの AI モデルを構築し、専門医に匹敵する診断精度を報告してきた。専門医不在環境でも高精度な診断支援が可能である。

4. 遠隔連携モデル

ポータブル超音波装置と AI を組み合わせ、非専門医が取得した画像を AI 解析し、専門医へ遠隔共有する診療連携モデルを構築している。これにより離島医療の質向上と医師負担軽減を目指す。

5. OKINAWA-HF レジストリ

県内多施設と連携し、胸部 X 線・心エコー・臨床情報を統合した AI モデルを開発している。予後予測および治療最適化を通じて、心不全診療の高度化を目指す。

Take Home Message

AI は診療を支える拡張知能である。沖縄という地域特性を活かし、ワンチームで循環器医療の新たな枠組みを構築する。

P R O F I L E

略歴

2004年3月 筑波大学 医学専門学群 卒
 2009年9月 徳島大学 大学院 医科学教育部 卒
 2010年9月 徳島大学 循環器内科 助教
 2011-2014年 Cleveland Clinic, Cleveland, Ohio, USA, Research Fellow.
 2020年4月 徳島大学 循環器内科 講師
 2023年7月 琉球大学医学研究科 循環器・腎臓・神経内科学講座 教授
 2023年11月 琉球大学病院 超音波センター センター長
 2025年4月 琉球大学病院 病院長補佐
 2025年6月 琉球大学病院 脳卒中・心臓病等総合支援センター センター長

受賞

2008年 Dr. Daniel Kalmanson's Award of 16th ICDS Congress 1st prize
 2012年 Young Investigation Award of 23th American Society of Echocardiography Finalist
 2012年 Best Science Award Abstract Poster American Heart Association
 2013年 Lower Clinical Award of Cleveland Clinic Educational Foundation 2nd prize
 2013年 Young Investigation Award of 24th American Society of Echocardiography Finalist
 2014年 Lower Non-Clinical Award of Cleveland Clinic Educational Foundation 1st prize
 2014年 Peskind Memorial Award of Cleveland Clinic Educational Foundation 1st prize
 2015年 日本心エコー図学会 Research Hypothesis and Design Award 最優秀賞
 2015年 第2回日本循環器学会 循環器イメージング賞 優秀賞
 2016年 第3回日本循環器学会 循環器イメージング賞 最優秀賞
 2016年 第5回日本循環器学会 循環器臨床研究奨励賞(症例報告部門) 最優秀賞
 2016年 日本心エコー図学会 Research Achievement Award 最優秀賞
 2016年 日本超音波学会 第17回奨励賞 循環器部門
 2016年 Young Investigation Award of 60th Korean Society of Cardiology Finalist
 2017年 日本循環器学会 Young Investigation Award (Clinical 部門) 優秀賞
 2017年 日本心エコー図学会 Young Investigation Award 最優秀賞
 2017年 日本心臓病学会 Young Investigation Award 最優秀賞
 2019年 公益財団法人 康楽賞 (教員部門)
 2019年 経産省 ビジネスコンテスト アイディア部門 Semi-finalist
 2019年 徳島県科学技術大賞 (若手研究者部門)
 2020年 福田記念医療技術振興財団 論文賞
 2020年 日本心臓財団・日本循環器学会 矢崎義雄奨励賞
 2020年 第9回日本循環器学会 循環器臨床研究奨励賞(研究部門) 最優秀賞
 2021年 第3回日本メディカル AI 学会奨励賞 -JMAI AWARD 優秀演題賞
 2022年 Top 10 Reviewers in Circulation: Cardiovascular Imaging, Top Reviewers in Heart, Best Reviewers Award in Circulation Journal
 2023年 Top 10 Reviewers in Circulation: Cardiovascular Imaging, Top Reviewers in Heart
 2024年 Top 10 Reviewers in Circulation: Cardiovascular Imaging, Best Reviewers Award in Circulation Journal
 2025年 Reviewer of the Year: Cardiovascular Imaging
 2026年 Reviewer of the Year: Cardiovascular Imaging

所属国内学会

日本内科学会 (専門医・指導医・評議員)、
 日本循環器学会 (FJCS・専門医・評議員)、
 日本循環器協会 (評議員)、日本心臓病学会 (評議員)、
 日本超音波学会 (専門医・指導医・評議員)、
 日本心エコー図学会 (専門医・評議員)、
 日本腫瘍循環器学会、日本血管不全学会 (評議員)、
 日本心臓血管作動物質学会 (理事)、日本高血圧学会、
 日本肺高血圧・肺循環学会 (評議員)、日本脳卒中学会、
 日本神経学会、日本脳血管・認知症学会 (評議員)、
 日本心血管協会 (評議員)、日本腎臓学会、
 日本心臓リハビリテーション学会 (評議員)、
 循環器学会女性循環器医コンソーシアム (オブザーバー)

所属国際学会

American Society of Echocardiography (上級会員: FASE),
 European Society of Cardiology (上級会員: FESC),
 American Heart Association, American College of Cardiology

< Editorial Board Member >

2014- Journal of Cardiovascular Ultrasound
 2019- Circulation: Cardiovascular Imaging
 2020- Heart

< Associate Editor >

2020- Journal of Echocardiography
 2023- International Journal of Cardiology
 2023- Clinical Hypertension
 2024- Journal of Medical Ultrasonics
 2025- Journal of Cardiology
 2025- Circulation Journal
 2025- Annals of Vascular Diseases
 2026- Heart

< Editorial Experience >

2018-2023 Circulation Reports
 2021-2023 Journal of Cardiovascular Development and Disease

②「沖繩における泌尿器科医療の発展と人材育成へ向けて」



琉球大学大学院医学研究科
腎泌尿器外科学講座 猪口淳一 先生

私が琉球大学の腎泌尿器外科学講座に着任して、まもなく2年が経過しようとしております。この2年、琉球大学病院、医学部の西普天間への移転など大きなイベントのある中、沖繩県における泌尿器科医療の現状把握、さらには今後に向けての布石をうってまいりました。今回はこの貴重な機会を通じて、これまで行ってきたこと、今後の抱負についてお話ししたいと思います。

まず、沖繩県における泌尿器科医療の現状です。残念ながら、沖繩県ではまだまだ泌尿器科専門医が不足しており、さらに現職の高齢化も問題となっております。すなわち、泌尿器科専門医資格をもつ中堅、若手が少なく、将来の県内泌尿器科医療の維持が危ぶまれる状況にあります。また、北部、離島地域には専門医がわずかしかおらず、地域格差も問題となっております。そのため、まずは県内の泌尿器科医、病院、診療所での緊密な連携により、県内の泌尿器科医療を支えていけるよう、多くの先生方のご協力のもと新たな同門組織である琉球泌尿器科同門会を立ち上げました。これまで、一部で分断されていた連携がよりスムーズに行える体制が準備できたと考えております。同時に、泌尿器科医療に加わる若手、新人の積極的な勧誘活動を行っており、その後の教育を通して貴重な人材の育成を行っていきたくと考えております。

特に、沖繩県唯一の医学部を擁する琉球大学では、泌尿器科に興味をいだいてもらえるよう学生実習などにおいて工夫をこらしながら教育に取り組んでいます。

臨床面では、ロボット支援手術を中心とした高難度手術、新規術式の積極的な導入を進め、様々な術式において手術手順や手技の細やかな指導を行い、治療成績向上に努めるとともに、手術症例数の増加につなげています。私の赴任後、ロボット支援手術において膀胱全摘除術時の完全体腔内尿路変向術や腎尿管全摘除術、下大静脈腫瘍塞栓を伴う腎癌に対する摘除術などを導入してまいりましたし、尿禁制改善を目的とした前立腺全摘除術の術式変更などを進めてまいりました。現在、hinotoriも導入され遅滞なく手術が可能な状況となっております。

当科では人員が限られていたこともあり、研究面ではなかなか十分な成果がだせておりませんでした。その点も少しずつ人員が増えることで解消しつつあります。悪性腫瘍や骨盤臓器脱に対する臨床的、基礎的研究を幅広く行っておりますが、その中で私自身は尿路上皮癌の早期発見へ向けた新たなバイオマーカーを同定し、すでに特許を取得し現在上市へ向けて開発を継続中です。

今後、島嶼地域を有する沖繩において、安定した泌尿器科医療を維持できる人材を育成し、緊密な連携を取りながら更なる発展を目指して精進してまいりたいと思います。これからも何卒よろしくお願い申し上げます。

P R O F I L E

学歴

- 平成 9 年 (1997) 3 月 25 日
広島大学医学部医学科 卒業
- 平成 12 年 (2000) 4 月 5 日
九州大学医学系学府・臓器機能医学専攻 入学
- 平成 16 年 (2004) 3 月 25 日
同上 修了

職歴

平成 9 年 (1997) 5 月 16 日
九州厚生年金病院・臨床研修医

平成 10 年 (1998) 5 月 16 日
九州大学医学部附属病院・医員 (研修医)

平成 11 年 (1999) 4 月 1 日
原三信病院泌尿器科・医師

平成 16 年 (2004) 4 月 1 日
九州大学病院・泌尿器科・医員

平成 17 年 (2005) 10 月 1 日
壱岐市民病院・医長

平成 18 年 (2006) 2 月 1 日
九州大学病院・泌尿器科・医員

平成 18 年 (2006) 3 月 20 日
University of California, Irvine Medical Center, PhD
として留学

平成 20 年 (2008) 4 月 1 日
九州大学大学院医学研究院 泌尿器科学分野・助教

平成 21 年 (2009) 6 月 1 日
九州大学病院・泌尿器科・助教

平成 25 年 (2013) 4 月 1 日
九州大学病院・泌尿器科・前立腺・腎臓・副腎外科 講師

平成 29 年 (2017) 5 月 1 日
同 診療准教授

令和 2 年 (2020) 4 月 1 日
九州大学大学院医学研究院泌尿器科学分野 准教授

令和 6 年 (2024) 4 月 1 日
琉球大学大学院医学研究科 腎泌尿器外科学講座 教授

令和 7 年 (2025) 4 月 1 日
琉球大学病院 病院長補佐 兼任

所属学会

日本泌尿器科学会 (専門医・指導医、2020.10 ~ 代議員)
西日本泌尿器科学会 (2020.04 ~ 代議員)
日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会 (2013.11 ~ 評議員、
2016.05 ~ 代議員)
日本内視鏡外科学会 (2020.09 ~ 評議員)
日本癌治療学会 (2023.08 ~ 2025.07 代議員)
日本臨床腫瘍学会
日本泌尿器腫瘍学会 (2016 ~ 代議員、2024 ~ 理事)
日本内分泌外科学会
日本ロボット外科学会
日本移植学会
日本臨床腎移植学会
日本排尿機能学会
日本尿路結石症学会
American Urological Association
Endourological society
Societe Internationale d'Urologie

受賞

第 67 回 西日本泌尿器科学会総会 学術奨励賞 (2015 年 11 月 7 日)
The 31st Annual Congress of the European Association of Urology, Best Poster (2015 年 3 月 14 日)
西日本泌尿器科学会賞 (重松賞) (2017 年 11 月 10 日)

③「沖縄県の精神科地域医療における医療 DX の今後の展望」



琉球大学院医学研究科
精神病態医学講座 高江洲義和 先生

医療デジタルトランスフォーメーション (DX) 推進は我が国における国策として位置付けられており、医療 DX の推進により、質の高い医療の提供、医療コストの削減、人的リソースの削減に繋がることが期待されている。厚生労働省保険局医療課から発表された令和 6 年度の診療報酬改定においては中核的な医療 DX としてオンライン診療が取り上げられており、精神疾患に対する診療報酬化が策定されたことにより、オンライン診療に注目が集まっている。特に沖縄県の離島地域などの専門医療へのアクセスに制限がある地域においては、患者側からのオンライン診療に対するニーズは非常に大きいため、オンライン診療の実装化が望まれている。

一方で、オンライン診療の実装化については医療現場では必ずしも容易でなく、多くの障壁が存在している。診療報酬が現行の対面診療の 80% と低く設定されていること、臨床試験の結果を実臨床で示したデータが存在しないこと、また一般のオンラインミーティングソリューション (Zoom 会議など) をそのまま医療に導入するだけでは、通常の対面での診療と比べて情報量が格段に低減するため、医療の質の担保も課題となっている。そのため、現時点で積極的にオンライン診療を導入する医療機関は極めて少数であり、オンライン診療を精神科地域医療の中で実装化するためには、これらの課題を

解決する必要がある。

本講演においては現在、精神病態医学講座で取り組んでいるウェアラブルデバイスやオンライン診療などの医療 DX 推進のための臨床研究について概説して、沖縄県の精神科地域医療における医療 DX の果たすべき役割と今後の展望についても議論したい。

令和3年1月 : 琉球大学大学院医学研究科精神病態医学講座准教授
 令和6年8月 : 同教授・認知症疾患医療センター長

所属学会

日本精神神経学会 (代議員)、
 日本臨床精神神経薬理学会 (理事)、日本不安症学会 (理事)、
 日本睡眠学会 (幹事)、日本うつ病学会 (評議員)、
 日本時間生物学会 (評議員)

資格

精神保健指定医、日本精神神経学会専門医、
 日本精神神経学会指導医、日本睡眠学会総合専門医、
 日本睡眠学会指導医

受賞

平成24年 : 佐々記念賞
 平成26年 : 日本睡眠菌科学会 第13回 定期学術集会優秀発表賞
 平成28年 : American Academy of Dental Sleep Medicine, Clinical Research Award
 平成28年 : 日本神経精神薬理学会 Excellent Presentation Award
 平成29年 : 日本精神神経学会 国際学会発表賞
 令和元年 : 日本うつ病学会下田光造賞
 令和元年 : 日本時間生物学会奨励賞

P R O F I L E

学歴・職歴

平成16年3月 : 東京医科大学医学部卒業
 平成16年5月 : 東京医科大学病院勤務 (初期研修医)
 平成18年4月 : 東京医科大学救急医学講座 (後期研修医)
 平成21年4月 : 東京医科大学精神医学講座 (臨床研究医)
 平成23年2月 : 同助教
 平成25年10月 : 同講師
 平成30年1月 : 杏林大学医学部精神神経科学教室講師



懇親会